

保護者の皆様へ

—お子さんへの、ご家庭でのかかわりについて—

〇〇学校

校長 〇〇 〇〇

突然の災害や事故、事件を身近に体験すると、子どもたちはいつもと違う様子になったり、それをうったえたりすることがあります。これは「大きなショックによって表れる自然な反応」であり、異常なものではありません。多くは一時的なもので、ご家庭の中で受け止めていただければ、やがて落ちついていきます。

子どもの様子にあわてず、冷静に対応することが大切です。

お子さんの観察のポイント

次に、子どものよくある状態例を示しています。お子さんにあてはまると思うものに○をつけてください。

○が1つでもついたら、「●気をつけていただきたいこと」をかかわりの参考にしてください。

■直接、災害や事故、事件に関係するような反応

チェック欄	子どものよくある状態例
	災害や事故、事件の場면을繰り返し思い出す
	テレビや新聞等のニュースを見るのを嫌がる
	災害や事故、事件にあった人を助けられなかったと自分や周りをせめる
	まるで何事もなかったかのように元気にふるまう

●気をつけていただきたいこと

- ・子どもたちが話しかけてきたときには、さえぎらず最後まで話をきいてください。
- ・何も言わないのに「何となくいつもと違う」と感じられたときには、そっと見守ってください。話をしながらない時には、無理にききだそうとはしないでください。
- ・「自分が～していたから」と自分をせめるようなことを言うときには、しっかりと話をきき、「そんな気持ちでいるんだね」と、そのままを十分に受けとめてあげてください。

■情緒的な反応

チェック欄	子どものよくある状態例
	びくびくと不安そうにする
	イライラし、落ちつきがない
	怒りっぽく、すぐにカッとするようになる
	気持ちが落ちこむ
	いつもとくらべて子どもっぽくなっている

●気をつけていただきたいこと

- ・びくびくしたり、怖がったりしているときには、一緒にいて安心させてあげてください。
- ・いつもとくらべて神経が過敏でピリピリしているようなときには、そっと見守ってください。

裏面に続きます

■身体的な反応

チェック欄	子どものよくある状態例
	食欲がない、または食べすぎる
	頭痛や腹痛などをうったえる
	身体のだるさ、疲れなどをうったえる
	よく眠れない

●気をつけていただきたいこと

- ・身体の不調をうたえてきたときには、ゆっくりと休ませてください。
- ・夜中に目を覚ましておびえているようなときには、子どもが安心するまで一緒にいてあげてください。

■対人的な反応

チェック欄	子どものよくある状態例
	一人でいることを怖がったり嫌がったりする
	誰とも話をしようとしない
	親のそばから離れようとせず、親と一緒に寝たがる

●気をつけていただきたいこと

- ・親のそばから離れない、一緒に寝たがるような場合には、拒否せず子どもが自分で離れるまで一緒にいてあげてください。
- ・話をするのを嫌がる場合には、無理じいをせず、そっと見守ってください。

(学校コミュニティへの緊急支援の手引き 第2版(金剛出版)を一部改変し加筆)

しばらく様子を見て、落ちつかない状態がずっと続いたり、心配になるほど程度が重かったりする場合は、遠慮なく学校にご連絡ください。

〇〇学校 電話

次の相談窓口もご利用いただけます。無料で相談に応じてくれます。

香川県教育センター 教育相談窓口

子育て電話相談 087-813-2040 相談時間 9:00~21:00(通年)

24時間いじめ電話相談 087-813-1620 相談時間 24時間(通年)

来所相談 087-813-0945(予約制)

相談時間

月～金曜日(祝日・年末年始をのぞく)

9:00~17:00

第2、第4土曜日(祝日・年末年始をのぞく)

13:00~17:00

メール相談 kesoudan@kagawa-edu.jp

FAX相談 087-881-3272

教育相談窓口一覧
(教育センターHPが開きます)

